

## 博物館学芸員に関する授業科目履修要項

[2008～2011年度に入学した学生に適用]

博物館学芸員(以下「学芸員」という)とは、博物館法の規定に従って博物館資料の収集、保管、展示および調査研究その他これと関連する事業について、その専門的事項をつかさどる専門的職員のことである。

本学で開講される学芸員に関する科目は、学芸員養成を目的としている。学芸員の資格を希望する者は、学芸員に関する科目を履修して規定単位を修得すれば、卒業と同時に博物館法に則り、本学の「学芸員資格証明書」が授与される。

※2012年度から博物館法施行規則の一部を改正する省令が施行されたことにより、本学においてカリキュラム改正が行われました。ただし、2012年度以前から引き続き大学に在籍している者は、旧課程制度での必要単位数を満たすことで資格が得られますが、下記表の旧科目に対応した[2013年度開講科目]を履修する必要があります。

なお、注意すべき点として、もし卒業するまでに必要な単位数を取得できなかった場合、新しいカリキュラムに則った単位数(必修9科目19単位、選択科目については従来通り)が必要になりますので気を付けてください。大学院進学を考えている場合、学部在学中に旧課程制度上のすべての単位を取得できるようにしてください。

### 博物館学芸員に関する授業科目

( )内は単位数

	〈旧科目〉 本学開講科目 (単位数) [2008～2011年度までのカリキュラム]	〈新科目〉 本学開講科目 (単位数) [2013年度開講科目]
必修科目	教育原論A (2)〈2年次〉	博物館学A (2)〈1～3年次〉
	博物館学I (2)〈1～3年次〉	博物館概論 (2)〈1～3年次〉
	博物館学II (2)〈1～3年次〉	博物館学D (2)〈1～3年次〉
	博物館学III (2)〈1～3年次〉	博物館学E (2)〈1～3年次〉
	博物館実習 (3)〈2～4年次〉	博物館実習 (3)〈2～4年次〉
	生涯学習論 (2)〈2～4年次〉	生涯学習論 (2)〈2～4年次〉
	視聴覚メディア論 (2)〈2～4年次〉	視聴覚メディア論 (2)〈2～4年次〉

* 選択科目	考古学・文化史関係科目	名古屋C開講	考古学概論A (2) 考古学概論B (2) 現代の考古学 (2) 東アジア考古学A (2) 東アジア考古学B (2) 東アジア考古学C (2) 文化史A (2) 文化史B (2) 美術A (2) 美術B (2) 地域の文化と歴史(西アジア) (2) 人類文化学特殊講義(中国的世界の形成) (2) 人類文化学特殊講義(縄文文化論) (2) 人類文化学特殊講義(農耕文化論) (2) 人類文化学特殊講義(新大陸の考古学) (2) 人類文化学特殊講義(物質文化論) (2)	4 単位以上
	瀬戸C開講	日本史 (2) 美術 (2) 環境と文明 (2) 国家と宗教 (2)		
	文化人類学関係科目	名古屋C開講	文化人類学概論A (2) または文化人類学概論B (2) ※いずれか1科目のみ算入可能 社会人類学 (2) 宗教人類学 (2) 民族誌論 現代の文化人類学A (2) 現代の文化人類学B (2) 地域の文化と歴史(アフリカ) (2) 地域の文化と歴史(オセアニア) (2) 地域の文化と歴史(東南アジア) (2) 地域の文化と歴史(環太平洋) (2) 地域の文化と歴史(南アジア) (2) 地域の文化と歴史(アメリカ大陸) (2) 人類文化学特殊講義(アフリカの社会人類学) (2) 人類文化学特殊講義(アジアの社会人類学) (2) 人類文化学特殊講義(文化理論) (2) (2012年度まで) 人類文化学特殊講義(アジアの文化人類学) (2) 文化理論 (2)	4 単位以上
	瀬戸C開講	文化人類学 (2) 近現代史 (2) 地域文明論B(アジア) (2) 地域文明論G(アフリカ) (2) 地域文明論H(アジア) (2)		

\* 選択科目については、今年度不開講のものもあるので名古屋キャンパスは [人文学部 人類文化学科]、瀬戸キャンパスは [総合政策学部総合政策学科] [瀬戸キャンパス 共通教育科目] の講義概要を参照すること。

必要単位及び履修方法

1. 必修科目は、7科目15単位を2年以上にわたって修得しなければならない。
2. 選択科目は、考古学・文化史関係科目の中から4単位、文化人類学科目の中から4

単位ずつ計8単位以上を修得しなければならない。なお、キャンパスごとに科目があるが、自分の所属するキャンパス以外で開講される科目も履修できる。

3. 必修科目のうち、「博物館実習」は「博物館学Ⅰ」、「博物館学Ⅱ」、「博物館学Ⅲ」の全てを修得した後でなければ履修できない。但し、4年次生に限り、「博物館学Ⅰ(新科目:博物館概論)」、「博物館学Ⅱ(新科目:博物館学D)」、「博物館学Ⅲ(新科目:博物館学E)」のうちの2科目を修得していた場合に、「博物館実習」の履修を認める。なお、正当な理由ありと、当該委員会が認めた場合は上記にかかわらず履修を認めることがあるので教務課に相談すること。
4. 人文学部心理人間学科生に限り、「教育学概論」をもって「博物館学A」に充当する。
5. 「生涯学習論」の授業コードは、15721-001と20086-001の2つである。20086-001は人文学部共通科目のコードである。人文学部生でこの科目を卒業単位に加えたい学生は、20086-001で登録すること。なお、司書課程における15921-001「生涯学習論」でこれにかえることができる。
6. 「視聴覚メディア論」の授業コードは15726-001と20081-001の2つである。20081-001は人文学部共通科目のコードである。人文学部生でこの科目を卒業単位に加えたい学生は、20081-001で登録すること。
7. 博物館実習の履修には、博物館実習費が必要である。なお、これについては、別に定める。

#### 留意事項

1. 必修科目の履修には2年以上の期間が必要となる。事前に履修計画をたてて十分に注意することが望ましい。なお、必修科目は、同一科目を両キャンパスで開講する科目、集中講義で名古屋キャンパスのみで開講する科目、名古屋キャンパスで隔週開講する科目、名古屋キャンパスで行う授業を同時双方向の遠隔授業形式で瀬戸キャンパスでも受講できる科目があるので、開講キャンパスに注意すること。
  2. 博物館実習費は、教務課(瀬戸キャンパスは第2課教務係)の指示に従って納入すること(「博物館実習」を登録する年次の4月に納入)。  
別途、見学のための旅費等も必要である(実費)。  
時間割などの都合で、途中で履修不能となっても返却しない。
  3. 履修途中で留学予定の学生は、教務課(瀬戸キャンパスは第2課教務係)の窓口相談すること。
  4. 実習に関しては年度当初以外(授業開始後)の登録は原則として認めない。
- \* 博物館学芸員に関する事項は全てWebページによって知らせるので、常時「教務課Webページ」、瀬戸キャンパス「学生情報Webページ」に注意すること。

#### [博物館実習履修の連絡事項]

「博物館実習」は初回登録時に4年次生を筆頭に、3年次生、2年次生の順番で優先的に履修を認める。但し、4年次生の人数が定員に満たない場合には、3年次生、2年次生の順番で履修を認める。その場合3年次生以下は抽選とする。